

第2号

平成31年4月

はーと♡通信

河内長野市でサポートブック「はーと」の配布と活用が始まって6年目を迎え、平成30年12月末時点で約860冊が配布されています。当初は、就学前～小学生を中心にスタートしましたが、少しずつ中学校への進学時に活用される方も増えてきました。

今回のはーと♡通信では、毎年2月に河内長野市が行っているサポートブック「はーと」実践報告会の経過や内容・参加者の感想をお伝えします。

平成25年度	主催：大阪大谷大学教育学部、河内長野市 河内長野市教育委員会 テーマ：サポートブックから「個別の支援計画」への展開
--------	---

.....平成26年4月から配布と活用開始.....

準備段階から大阪大谷大学教育学部の協力を得て作成したこともあり、配布の前に共催で講演会を開催しました。

実践報告会の内容

第1部 活用の実践報告

第2部 意見交換会と講演

講師：大阪大谷大学 教育学部 教授 小田浩伸氏

年度	実践報告者
平成26年度	あいっく／清教学園幼稚園／長野小学校／保護者／NPO法人ぬくもり／河内長野市教育委員会
平成27年度	あいっく／奈良佐保短期大学附属河内長野幼稚園／長野小学校／保護者／ピアセンターかわちながの／河内長野市教育委員会
平成28年度	あいっく／大阪千代田短期大学附属幼稚園／保護者 三日市小学校／南河内南障害者就業・生活支援センター／河内長野市教育委員会
平成29年度	あいっく／南嶺保育園／保護者／長野中学校／児童デイサービスあゆみ／河内長野市教育委員会
平成30年度	あいっく／保護者／相談支援センターmum／千代田小学校／河内長野市教育委員会／泉佐野市 子育て支援課



「つながろう！つながろう！」をテーマの一つとし、参加者同士の意見交換会を始めました。

色々な職種や立場の人と話ができる貴重な機会となっており非常に好評です！

参加者の感想です

色々な職種の人と話をすることで、現場の人の話を聞けてとても勉強になりました。

支援者の声や活用のポイントをきけてよかったです。子どものため、私のためにも続けて書きたいと思います。



どの報告でも「つながり」がキーワードとして話されていたのが印象に残りました。

サポートブックの考え方が広まることで、教育のあり方も大きく変わっていきけるように感じました。

～実践報告会より～

小学校の先生からのメッセージ



入学当初、♥ちゃんのことをまだよく知らないときに、「はーと」の存在がとても助けになりました...

どのようなことができ、どのようなことができないのか、♥ちゃんに対してどのような支援が適しているのかが、とても詳しく書かれていて何度も読み返しました。

♥ちゃんの担任になってもうすぐ1年がたちます。改めて「はーと」を見かえしてみると、できるようになったことが本当にたくさんあります。♥ちゃんもこの1年で大きく成長しましたが、私も「はーと」のおかげで成長したように思います...

支援に携わる者はもちろん、その児童と関わるすべての人々に「はーと」を読んでもらえれば、児童のよりよい学校生活につながると思います...

平成31年度

サポートブック「はーと」実践報告会のお知らせ

- 日時：平成32年2月7日（金） 13：30～16：30
- 場所：市民交流センター（キックス） 大会議室
- 内容：実践報告・意見交換会・大阪大谷大学小田教授の講演会など
※詳細・申込みについては1月号広報紙でお知らせします

河内長野市役所 障がい福祉課

住所：河内長野市原町一丁目1番1号

電話：0721-53-1111